

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

浜松市長 中野 祐介

市町村名 (市町村コード)	浜松市 (22130)
地域名 (地域内農業集落名)	天竜・龍山地区 (別紙のとおり)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年3月6日 (第2回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

### (1) 地域農業の現状及び課題

・急峻な地区が多く、耕地は小集落単位で分散していて主に茶、露地畑作(花木)等で利用されている。小規模ながら高品質な茶が生産されているが、急峻、小区画で園内耕作道未整備の園地が多い。  
・ある程度まとまっている農地には拡大希望の担い手はあるが、多くの集落では担い手がいないため自給農家のリタイアに伴い荒廃農地が増えている。

#### 【地域の基礎データ(R5.1担い手アンケート)】

・担い手農業者19名(69歳以下又は70歳以上後継者あり18名、70歳以上後継者なし1名、回答なし0名)茶産地  
・主な営農類型:水稲作1名、露地畑作0名、ハウス畑作1名、露地果樹0名、ハウス果樹0名、茶13名、花木3名、畜産1名、その他0名

### (2) 地域における農業の将来の在り方

・農協や大規模担い手により形成された作物産地の維持・発展を図る。(茶、花木等)  
・担い手間の利用調整を進め、担い手ごとにほ場の集約化を図り、各々の耕作作業の効率化を図る。まとまったほ場の確保により、将来的なドローン利用や作業の自動化などスマート農業の導入の可能性を高める。  
・担い手耕作地の集約化に支障となっている荒廃農地の再生利用を図る。  
・地域におけるリタイア時の耕作地やハウス等の農業施設の引継ぎ方法の確立、地域への周知浸透を図る。  
・有機栽培の拡大を進め、地域ブランドの確立(高付加価値品目)による農地利用の拡大を図る。  
・茶園地では基盤整備事業等により、耕作道の再整備、区画整理等を進め、効率的で低労力の耕作作業ができるようにする。  
・担い手不在地区については、山暮らしや田舎暮らし回帰などの新しいライフスタイル等を通じた農業経営以外の担い手確保による地域維持と農地利用を模索する。

## 2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

### (1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	574.3 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	574.3 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

### (2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

・農振農用地区域内の農地(青地農地)とする。ただし流動性の低い営農型太陽光発電下部農地は除く。  
・当初設定においては第91回農用地区域の変更(令和7年2月)に係る農地は除く。(このため上記(1)の面積は今後の変更あり。第91回農用地区域の変更分の確定後に面積確定する。)

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
・農業委員会(農業委員・推進委員)の農地利用最適化活動や農協、土地改良区による農地集積事業(定期的な貸出農地募集→利用調整の事業)により、担い手を中心に農地中間管理事業を活用した農地の利用集積を進める。集団農地では耕作地の集団化(集約化)のための耕作地交換を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方針
・農地中間管理事業の農地利用の交換・集約機能を活用するため、まずは農地中間管理機構への貸付の拡大を図る。その後、農地中間管理事業の農地利用の交換・集約機能を活用し、担い手リタイア時の耕作地の適切な継承や、担い手個々の耕作地の段階的な集約化(集団化)を図る。
(3)基盤整備事業への取組方針
・担い手のニーズや地域の課題等を踏まえ、必要な基盤整備事業を進める。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
・現存の担い手による農地利用を優先しつつ、必要に応じて地域外から多様な経営体を募り、担い手として育成していく。また山暮らしや田舎暮らし回帰など新しいライフスタイル等による農業経営以外の担い手確保による農地利用を検討する。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
・地域の作業をまとめて実施することにより効率化が期待できる農作業については、担い手への作業委託を進める。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

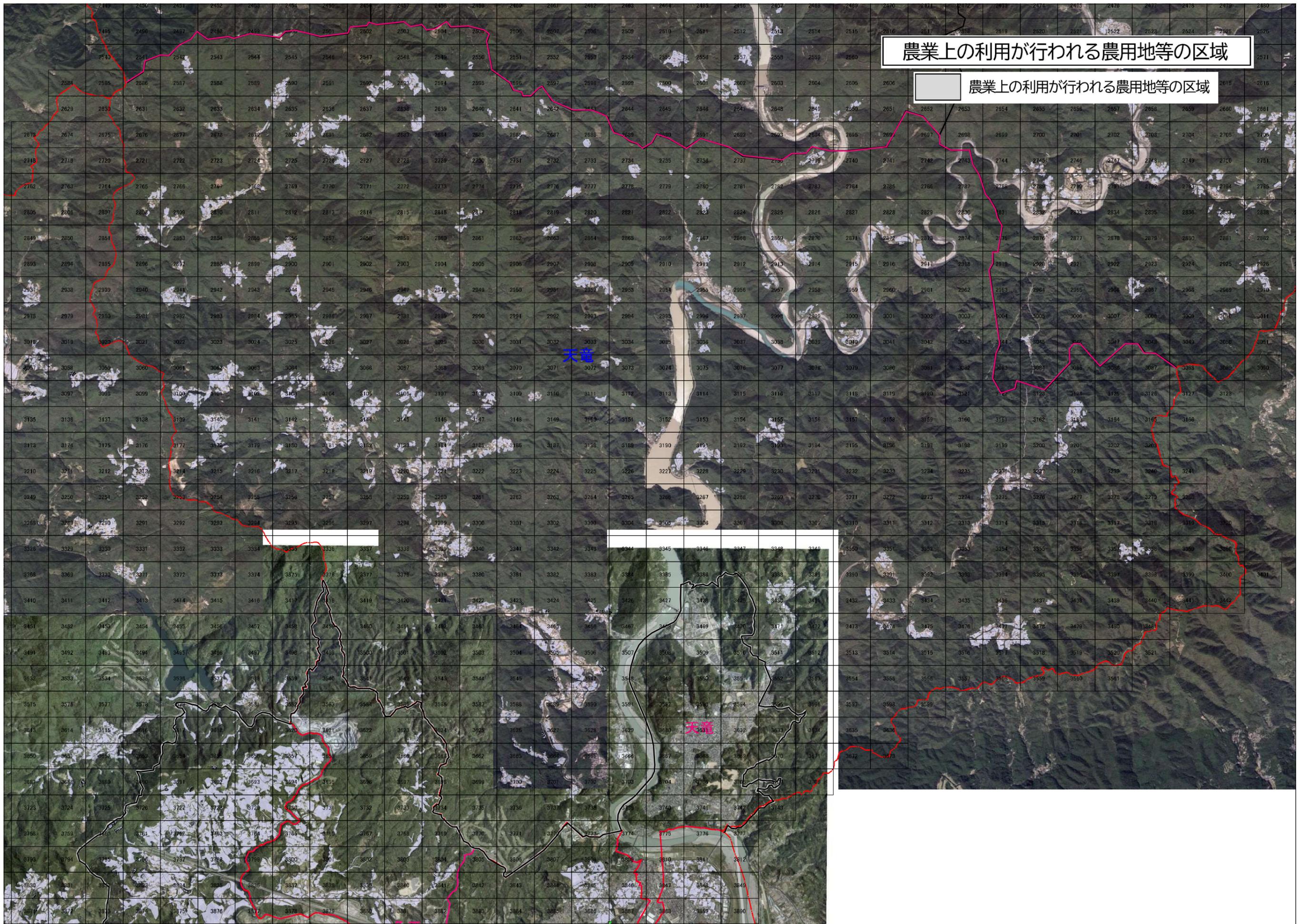
- ①電柵等設置による獣害対策
- ②有機栽培の拡大などによる地域ブランドの確立(高付加価値品目化)
- ⑤産地維持のための基盤整備事業等による茶樹作の作業効率化の機運醸成
- ⑦地域環境保全活動(多面的機能支払)…美農里大栗安棚田倶楽部
- ⑦地域環境保全活動(中山間直接支払)…本村、内熊、大下、安蔵、上百古里、大井平集落協定
- ⑩山暮らしや田舎暮らし回帰など新しいライフスタイル等による農業経営以外の担い手確保による農地利用の検討

(別紙)

地域計画の地区	地区	農業集落名
天竜・龍山	天竜	二俣町・大園
天竜・龍山	天竜	二俣町・西鹿島
天竜・龍山	天竜	光明村・
天竜・龍山	天竜	光明村・麓・北島
天竜・龍山	天竜	光明村・五明・森脇
天竜・龍山	天竜	光明村・中道・大溪・鉦付
天竜・龍山	天竜	光明村・中村
天竜・龍山	天竜	光明村・八幡
天竜・龍山	天竜	光明村・山王
天竜・龍山	天竜	光明村・大谷
天竜・龍山	天竜	光明村・船明
天竜・龍山	天竜	光明村・只来
天竜・龍山	天竜	光明村・横川
天竜・龍山	天竜	光明村・下百古里
天竜・龍山	天竜	光明村・上百古里
天竜・龍山	天竜	光明村・大平
天竜・龍山	天竜	上阿多古村・
天竜・龍山	天竜	上阿多古村・落合
天竜・龍山	天竜	上阿多古村・西
天竜・龍山	天竜	上阿多古村・白野
天竜・龍山	天竜	上阿多古村・大沢
天竜・龍山	天竜	上阿多古村・東藤平
天竜・龍山	天竜	上阿多古村・東
天竜・龍山	天竜	上阿多古村・阿寺
天竜・龍山	天竜	上阿多古村・芦窪
天竜・龍山	天竜	上阿多古村・長沢
天竜・龍山	天竜	上阿多古村・懐山
天竜・龍山	天竜	下阿多古村・
天竜・龍山	天竜	下阿多古村・石神
天竜・龍山	天竜	下阿多古村・上野
天竜・龍山	天竜	下阿多古村・両島
天竜・龍山	天竜	下阿多古村・青谷
天竜・龍山	天竜	下阿多古村・平田
天竜・龍山	天竜	下阿多古村・渡ヶ島
天竜・龍山	天竜	下阿多古村・米沢
天竜・龍山	天竜	熊村・

天竜・龍山	天竜	熊村・石打
天竜・龍山	天竜	熊村・柴
天竜・龍山	天竜	熊村・沢丸
天竜・龍山	天竜	熊村・高平
天竜・龍山	天竜	熊村・峯中
天竜・龍山	天竜	熊村・熊平
天竜・龍山	天竜	熊村・大地野
天竜・龍山	天竜	熊村・坂野
天竜・龍山	天竜	熊村・向
天竜・龍山	天竜	熊村・市場
天竜・龍山	天竜	熊村・上神沢
天竜・龍山	天竜	熊村・峯神沢
天竜・龍山	天竜	熊村・西神沢東
天竜・龍山	天竜	熊村・西神沢西
天竜・龍山	天竜	熊村・六郎沢
天竜・龍山	天竜	熊村・串山
天竜・龍山	天竜	熊村・内熊
天竜・龍山	天竜	熊村・本村
天竜・龍山	天竜	熊村・東組
天竜・龍山	天竜	竜川村・
天竜・龍山	天竜	竜川村・中村
天竜・龍山	天竜	竜川村・市場
天竜・龍山	天竜	竜川村・西区
天竜・龍山	天竜	竜川村・大井平
天竜・龍山	天竜	竜川村・安蔵
天竜・龍山	天竜	竜川村・大白木
天竜・龍山	天竜	竜川村・大倉
天竜・龍山	天竜	竜川村・月島
天竜・龍山	天竜	竜川村・伊砂
天竜・龍山	天竜	竜川村・大川
天竜・龍山	天竜	竜川村・相津
天竜・龍山	天竜	竜川村・佐久
天竜・龍山	天竜	竜川村・谷山
天竜・龍山	天竜	竜川村・中島
天竜・龍山	天竜	竜川村・松間
天竜・龍山	天竜	竜川村・東雲名
天竜・龍山	天竜	竜川村・西雲名
天竜・龍山	龍山	龍山村・西川
天竜・龍山	龍山	龍山村・落合

天竜・龍山	龍山	龍山村・白倉
天竜・龍山	龍山	龍山村・鮎釣
天竜・龍山	龍山	龍山村・戸倉
天竜・龍山	龍山	龍山村・雲折
天竜・龍山	龍山	龍山村・下平山
天竜・龍山	龍山	龍山村・瀬尻南 1
天竜・龍山	龍山	龍山村・瀬尻南 2
天竜・龍山	龍山	龍山村・瀬尻北
天竜・龍山	龍山	龍山村・高誉

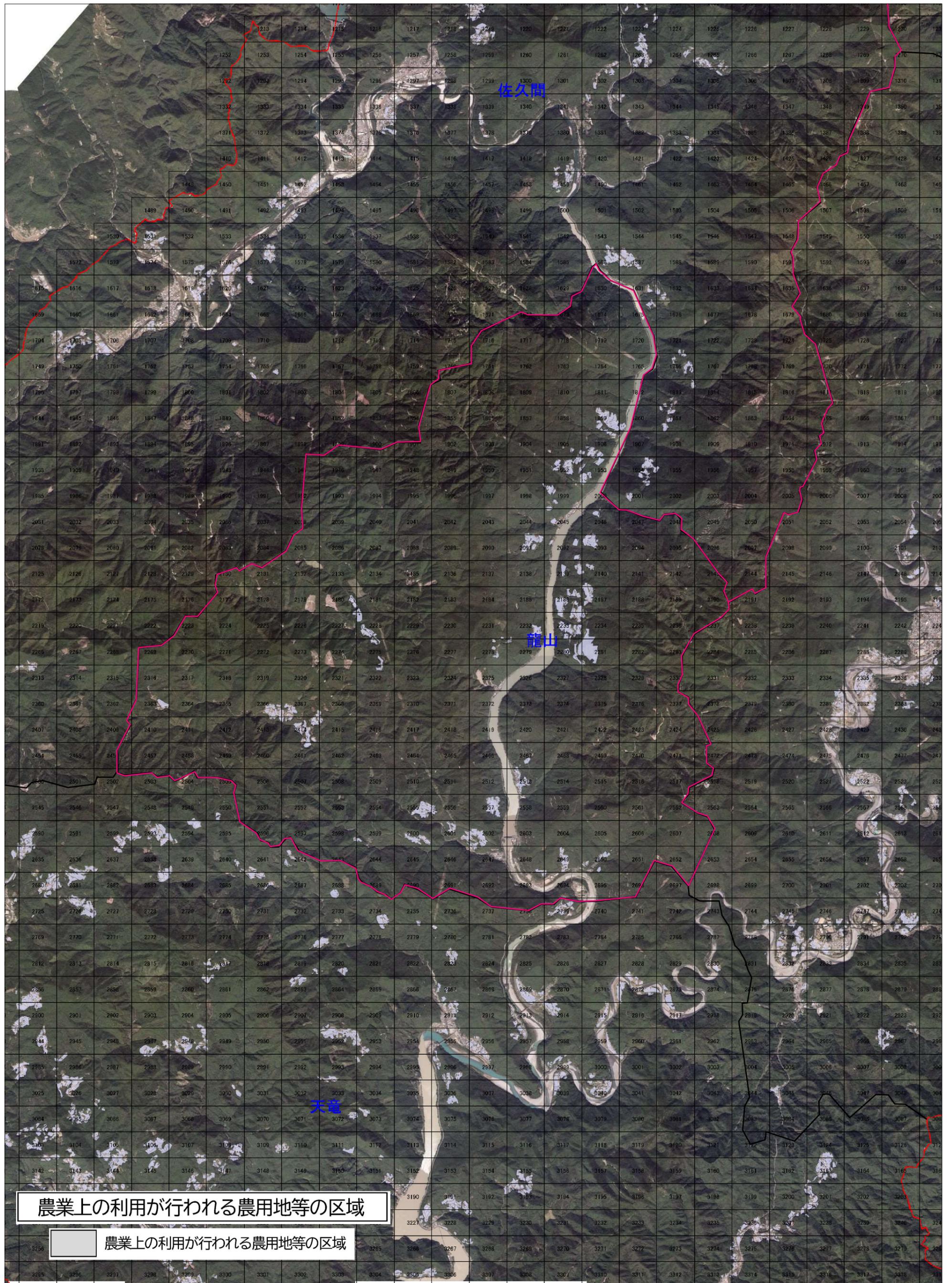


農業上の利用が行われる農用地等の区域

農業上の利用が行われる農用地等の区域

天竜

天竜



農業上の利用が行われる農用地等の区域

農業上の利用が行われる農用地等の区域

# 地域計画の地域の話合いの進め方

## ○参加メンバー

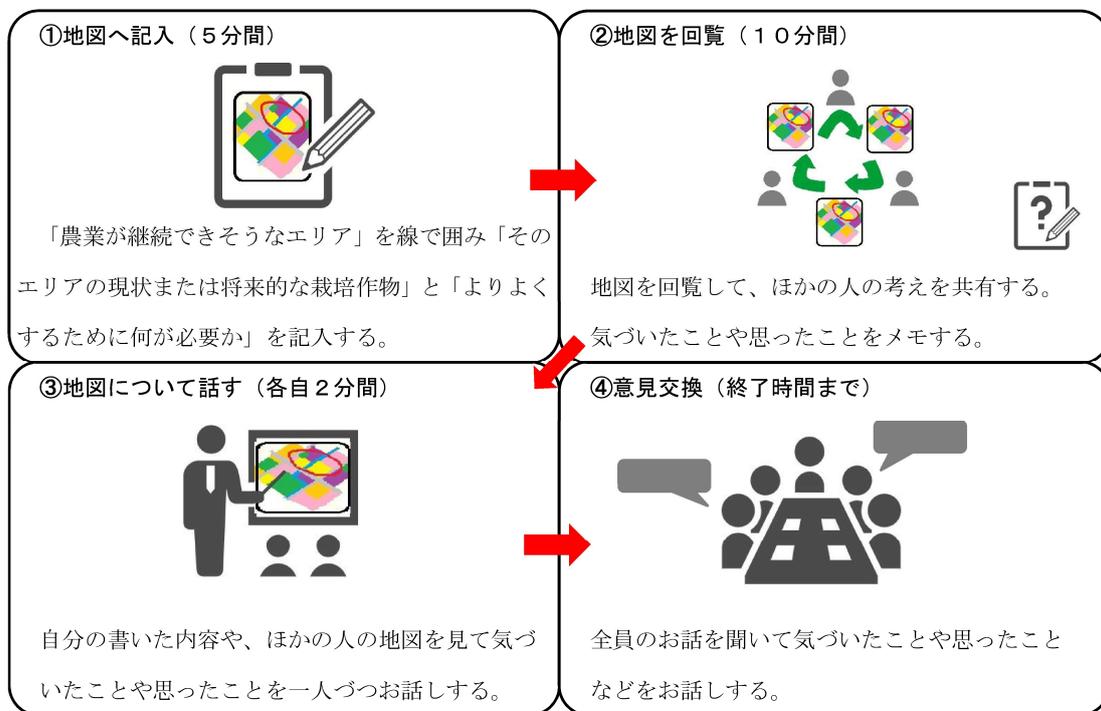
### 農業を行う側

- ・浜松市認定農業者協議会の役員
- ・地区内の農業者
- ・農協の産地作物部会の役員
- ・農協職員(地区営農支援担当)

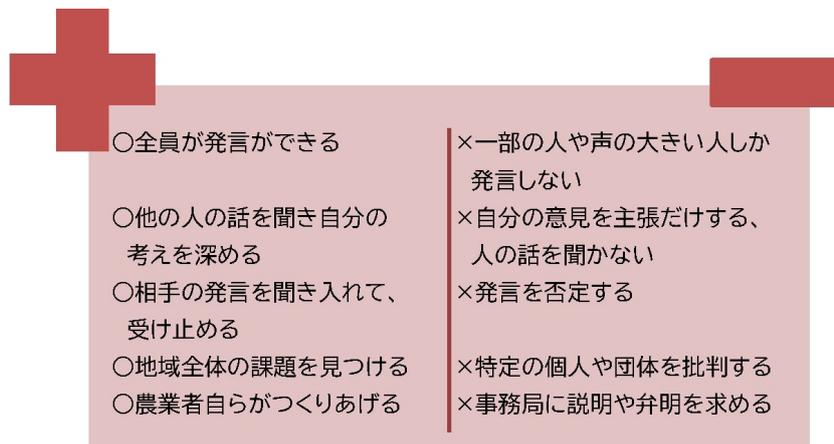
### 農業のサポート側

- ・農業委員、推進委員
- ・土地改良区、水利組合の役員
- ・中間管理機構(県公社)の職員
- ・県、市の職員

## ○話合いの進め方



## ○話合いのルール



地区	出された意見(個人が特定される意見は除いてあります。)	意見掲載日
天竜・龍山	将来的に不耕作となる懸念	
天竜・龍山	基盤整備の必要性、補助金、労働力確保	
天竜・龍山	価格上昇	
天竜・龍山	若手の興味、生計が立てられるようになるまで地域で計画を立てる必要がある	
天竜・龍山	害獣への対策	
天竜・龍山	急傾斜地多い、生産性悪い	
天竜・龍山	過疎化、高齢化、担い手減少	
天竜・龍山	法人の存続も難しい	
天竜・龍山	地区外の力のある耕作者に担い手になってもらいたい	
天竜・龍山	集落を明るく保つ、自分のできる範囲で自分の耕作地を維持していく	
天竜・龍山	認定農業者に特定せず広く受け入れる	
天竜・龍山	新たな品目を導入	
天竜・龍山	保全管理しているところが多い	
天竜・龍山	自作地が多い	
天竜・龍山	傾斜が多く条件が厳しい	
天竜・龍山	他産業との連携、オンラインの活用	
天竜・龍山	ゆるい移住から始める	
天竜・龍山	担い手へ集約している農地が今後残っていくのでは	
天竜・龍山	個人農家の世代交代が厳しいため法人、外部からの雇用が必要	
天竜・龍山	新たな品目の導入	
天竜・龍山	自作から担い手へ集約、シフトすることで効率を上げる	
天竜・龍山	傾斜が大きい、獣害等に対する補助金の有効活用を	
天竜・龍山	若手が入るのであればもう少し山側が良いのでは、南側だと移住した感が薄い	
天竜・龍山	移住を考えても金銭面がネックになっているのでは	
天竜・龍山	農業をやりたいという声は周りで出ている	
天竜・龍山	補助金の要件等農業に飛び込みづらい	
天竜・龍山	自作地から担い手への利用権へシフト	
天竜・龍山	農地交換等による農地集積集約による作業効率アップ	
天竜・龍山	自作地が非常に多い、少しづつでも担い手に集約できれば	
天竜・龍山	茶、畑作物、しきみ一担い手となる組織的な経営体	
天竜・龍山	しきみ一基盤整備	
天竜・龍山	茶一基盤整備	
天竜・龍山	畑作一集積	
天竜・龍山	傾斜が多すぎて難しい	
天竜・龍山	平地多いため耕作可能	
天竜・龍山	有機茶一有機JAS取得	
天竜・龍山	茶、水稲一担い手の確保	
天竜・龍山	傾斜がきつい、自作地が多い、担い手をどうするか	
天竜・龍山	獣害の被害、有機茶	
天竜・龍山	自作地が非常に多くなっている、高齢化による放棄地化が心配	

地区	出された意見(個人が特定される意見は除いてあります。)	意見掲載日
天竜・龍山	傾斜地等もあって条件が悪くてなかなか借り手が見つからないかもしれない	
天竜・龍山	条件のよいところは少しづつでも担い手の方にシフトできれば農地も活性化するのではないか	
天竜・龍山	農地交換等によって飛び地となっている農地を集約集積できれば作業効率のアップも図れるのではないか	
天竜・龍山	横山橋辺りは傾斜が多くて難しい	
天竜・龍山	下平山、有機JAS取得、自作地が多い	
天竜・龍山	補助金をうまく使っていく	
天竜・龍山	傾斜が多いところは中山間直接支払いを継続	
天竜・龍山	自作地を担い手へ集積集約	
天竜・龍山	楽しく	
天竜・龍山	着目している地域が重複しておらず作業性や品質の特徴なの視点で捉えている	
天竜・龍山	中山間地域では比較的場所が良いところが多くある	
天竜・龍山	将来耕作放棄地となってしまうともったいない地域がある	
天竜・龍山	担い手に集積できるような潤沢な資金による基盤整備が必要である	
天竜・龍山	担い手の意欲を高めるには労働力の確保に伴う補助や農産物の消費者の納得できる価格上昇が必要である	
天竜・龍山	若い人たちの間で農業に興味がある人が増えてきたこと、しかし小規模化	
天竜・龍山	農業で生計を立てるにはやはり大規模化平坦地でなければ厳しい	
天竜・龍山	興味で終わらせずに大規模で生計を立てれるくらいにサポート	
天竜・龍山	認定農業者にこだわる必要なし、やれる人がやる	
天竜・龍山	主要品目がない、年齢に合わせた品目	
天竜・龍山	傾斜地は圃場条件が悪い、圃場を整備する業者が見つからない	
天竜・龍山	保全管理しているところが多い	

# 農地利用図(天竜地区)

## 【全体】

- ・担い手への農地集積という施策はなじまない(他の方法での地域維持)
- ・農業経営でなくライフスタイルでの地域外からの移住者による農業街のサービスも使いやすいちょうどいい距離感の地域
- ・量より付加価値を高めることが必要(有機JASなど)
- ・担い手経営地を中心に耕作道整備など小規模基盤整備の実施
- ・同世代の若手で農業に興味がある人が増えている感覚  
興味で終わらせない生計を立てられるサポートが必要

- ・比較的平地が多いので耕作しやすい
- ・街にも近い

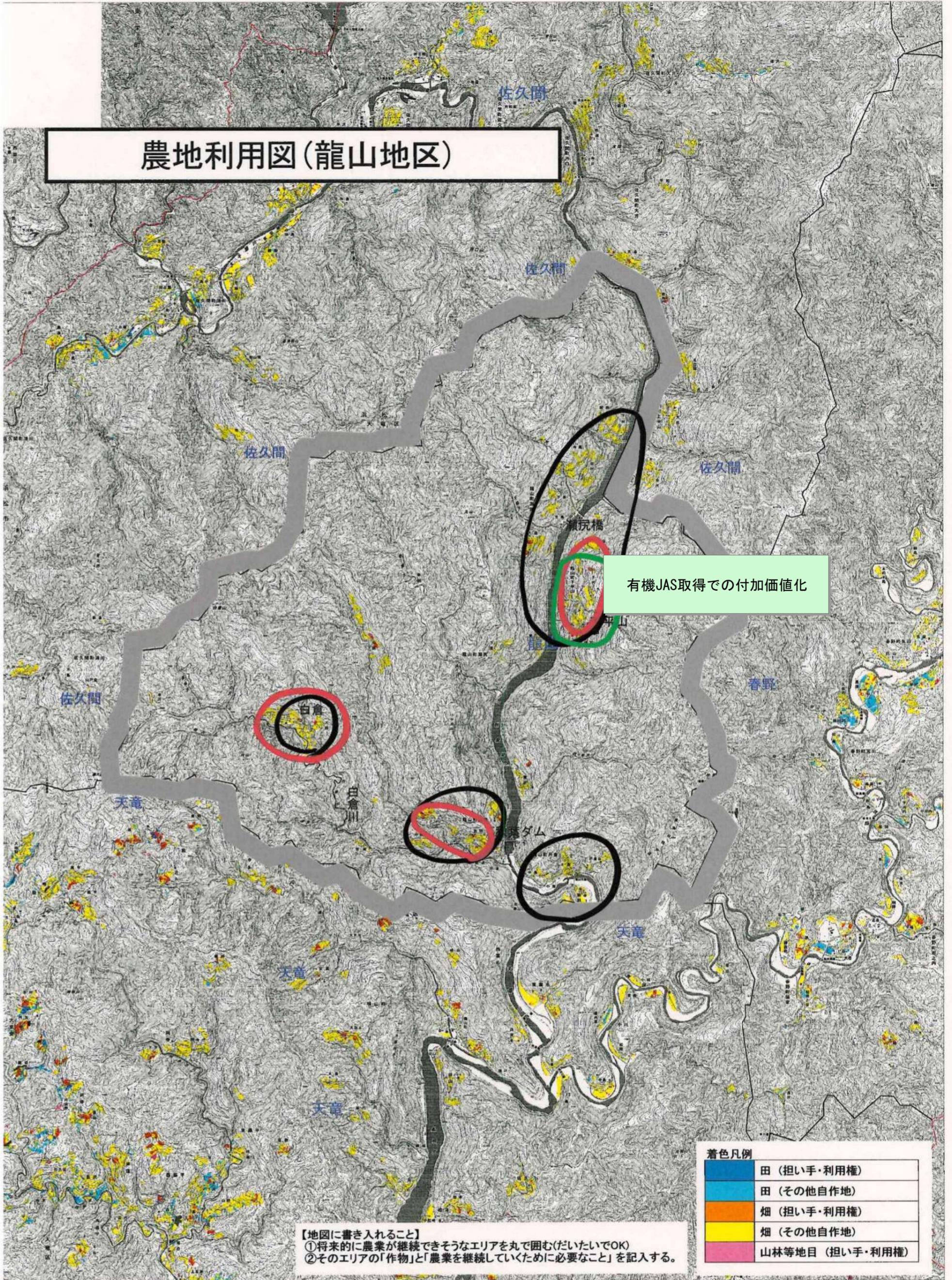
## 【地図に書き入れること】

- ①将来的に農業が継続できそうなエリアを丸で囲む(だいたいOK)
- ②そのエリアの「作物」と「農業を継続していくために必要なこと」を記入する。

## 着色凡例

田 (担い手・利用権)
田 (その他自作地)
畑 (担い手・利用権)
畑 (その他自作地)
山林等地目 (担い手・利用権)

# 農地利用図(龍山地区)



有機JAS取得での付加価値化

【地図に書き入れること】  
 ①将来的に農業が継続できそうなエリアを丸で囲む(だいたいOK)  
 ②そのエリアの「作物」と「農業を継続していくために必要なこと」を記入する。

着色凡例	
Blue	田 (担い手・利用権)
Light Blue	田 (その他自作地)
Orange	畑 (担い手・利用権)
Yellow	畑 (その他自作地)
Pink	山林等地目 (担い手・利用権)